

ひ ざん の う す い
岐阜県は「飛山濃水」と呼ばれ、

飛騨の山々や濃尾の河川から、自然の恵みを受けてきました。

ひ ざん の う す い
その一方で、「悲山悩水」とも呼ばれ、

山間部では土砂災害に、平野部では洪水に悩まされてきました。

災害から尊い命を守るためには、

一人ひとりが自ら決断し、

避難行動をとることが必要不可欠です。

国民の皆さんへ ~大事な命が失われる前に~

- 自然災害は、決して他人ごとではありません。
「あなた」や「あなたの家族」の命に関わる問題です。
- 気象現象は今後更に激甚化し、いつ、どこで災害が発生してもおかしくありません。
- 行政が一人ひとりの状況に応じた避難情報を出すことは不可能です。
自然の脅威が間近に迫っているとき、行政が一人ひとりを助けに行くことはできません。
- 行政は万能ではありません。
皆さんの命を行政に委ねないでください。
- 避難するかしないか、最後は「あなた」の判断です。
皆さんの命は皆さん自身で守ってください。
- まだ大丈夫だろうと思って亡くなった方がいたかもしれません。
河川の氾濫や土砂災害が発生してからではもう手遅れです。「今、逃げなければ、自分や大事な人の命が失われる」との意識を忘れないでください。
- 命を失わないために、災害に関心を持ってください。
あなたの家は洪水や土砂災害等の危険性は全くないですか？
危険が迫ってきたとき、どのような情報を利用し、どこへ、どうやって逃げますか？
- 「あなた」一人ではありません。
避難の呼びかけ、一人では避難が難しい方の援助など、地域の皆さんで助け合いましょう。
行政も、全力で、皆さんや地域をサポートします。

「平成30年7月豪雨を踏まえた水害・土砂災害からの避難のあり方について」より抜粋
(中央防災会議 防災対策実行会議
平成30年7月豪雨による水害・土砂災害からの避難に関するワーキンググループ)